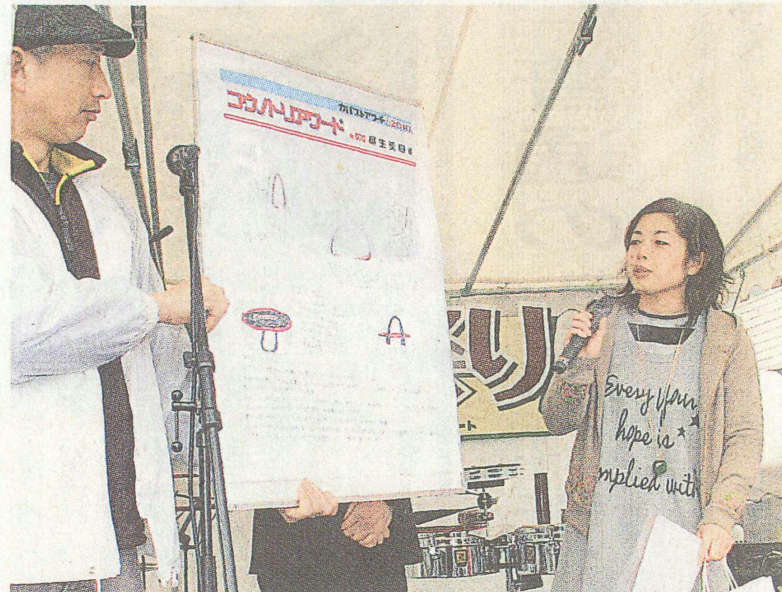


豊岡・宵田商店街 コウノトリの子育てテーマ



優秀作品に選ばれたかばんデザインについて話す、作者の桶生美樹さん(右)＝豊岡市中央町

「春祭り」かばんのデザイン競う 市民提案優秀作を発表

今秋にも商品化

「カバンストリート」の愛称で、地場産業の一般市民からかばんのデザインを募った「カバかばんを活性化」に生かす取り組みが続いている。ストアワードの結果発表があったほか、使った豊岡市中央町の宵田商店街で21日、「カバスト ていないランドセルの寄贈を受け付けるキャンペーン」(同商店街振興組合主催)が開かれた。ペインなどもあった。(初鹿野俊)

「コウノトリ子育てバッグ」をテーマに公募したアワードには、県内外から約40点が寄せられた。この日、インターネットや街頭での投票で選ばれた優秀作品3点を発表。このうち、乳幼児を抱えるように運ぶことができるデザインで表彰を受けた主婦桶生美樹さん(35)＝同市気比＝は、自作について「イメージはコウノトリが赤ちゃんを運ぶ姿です」と説明。3人の子どもがいることから「自分が子育てをする中で、あったらいいなと思うかばんを考えまし

た」と話していた。3点の優秀作品は、今秋に商品化されるという。

また、会場では使い終えたランドセルをアフガニスタンに贈る活動が続けるボランティア団体の「但馬future forum実行委員会」が受付窓口を開設。表面にさまざまな寄せ書きが書かれたものや、30年前に使われていたものなど、思い入れが詰まったさまざまなランドセルが寄せられていた。近大豊岡中の生徒会メンバーも協力し、訪れた人たちに、輸送費に充てられる募金を呼び掛けた。集まったランドセルは半年後に現地に届けられるという。